

氏名(本籍)	くまもとただひこ 熊本忠彦(長崎県)		
学位の種類	博 士 (工 学)		
学位記番号	博 乙 第 1,213 号		
学位授与年月日	平成 8 年 7 月 25 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 2 項該当		
審査研究科	工 学 研 究 科		
学位論文題目	A Study on an E-Mail User Support System Based on Spoken-Language Processing (話言葉処理に基づく電子メールユーザ支援システムに関する研究)		
主査	筑波大学教授	工学博士	寅 市 和 男
副査	筑波大学教授	工学博士	板 橋 秀 一
副査	筑波大学教授	工学博士	海老原 義 彦
副査	筑波大学教授	工学博士	石 橋 幸 男
副査	筑波大学教授	工学博士	根 本 承次郎
副査	筑波大学助教授	学術博士	和 田 耕 一

論 文 の 内 容 の 要 旨

本論文は、第 1 章 Introduction, 第 2 章 Design and Construction of an Advisory Dialogue Database, 第 3 章 Understanding of User's Spontaneous speech, 第 4 章 Control and Management of Dialogues with a User, 第 5 章 Construction of an Experimental User Support System, 第 6 章 Conclusions の 6 つの章から構成されている。

第 2 章ではユーザーとコンサルタントの対話(支援対話)の収集に関して述べてある。この対話データを分析することにより、第 3 章では自然言語処理部を、そして第 4 章では対話処理部を設計している。第 5 章では、この 2 つの処理部を実装し、支援システム(デモシステム)を構築している。第 6 章では本論文のまとめと今後の課題について述べてある。

審 査 の 結 果 の 要 旨

自然言語処理を取り入れることによって、電子メールのユーザーに対する有効な支援システムを構築している。この研究において、このシステムの評価が残されている。

よって、著者は博士(工学)の学位を受けるに十分な資格を有するものと認める。